

2025 年度普及啓発事業について

1 交流セミナーの開催

県民の手話言語・障害者コミュニケーション条例への理解と関心を深めるため、2022 年度から交流セミナーを継続して開催している。

【事業内容の検討】

- 交流セミナーは、施設内のホールを開催場所として実施してきた。
- 参加者はセミナーに興味があり、事前に応募のあった県民に限られている。
- より多くの県民へ広く普及啓発を行うことも重要であると考え、会場の変更等を含めたプログラム案を次のとおり検討する。

<案の1>

会場をショッピングモールや街中などのイベントブースに変更し、不特定多数の県民の目に留まるような場所で開催する。

ゲストによるトークイベントを行った後に、手話体験などの来場者参加型のプログラムなどを実施することで、県民が障害の特性に応じたコミュニケーション手段に触れることのできる機会を作る。

<案の2>

従来の手法により、施設内のホールを開催場所としたセミナーを開催する。

ゲスト及び当事者の登壇や専門家による解説も詳細に行い、セミナーの参加者が詳しく障害の特性に応じたコミュニケーション手段について学べるセミナーとする。

2 コミュニケーション支援アプリの運用

- 継続運用し、専門部会、利用者等からの御意見を踏まえ、アプリの更新を図っていく。
- 既存の表示項目はこれまでの改修により充実しつつあるので、他の場面を想定した表示項目の追加等を検討する。
- 関係団体の会議等の場においてコミュニケーションアプリの紹介を行うなど周知活動を行っていく。

【参考】これまでの普及啓発事業

2016 年 10 月：手話言語の普及及び障害の特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例制定

2016 年度：条例説明リーフレット・ポスター作成及びシンポジウムの開催

2017 年度：子ども向け普及啓発ワークシートの作成及び条例 P R イベントの開催

2018 年度：企業向けリーフレット及び障害者理解促進イベントの開催

2019 年度：市町村職員向け避難所コミュニケーションセミナーの開催

2020 年度：コミュニケーション支援アプリ開発・普及

2021 年度：企業向け小冊子作成・配布及びシンポジウムの開催、コミュニケーション支援アプリ運用

2022 年度：条例説明リーフレットの増刷、交流セミナーの開催、コミュニケーション支援アプリ運用

2023 年度：コミュニケーション支援アプリ説明チラシの増刷、交流セミナーの開催、コミュニケーション支援アプリ運用

2024 年度：交流セミナーの開催、市町村職員向けコミュニケーションセミナーの開催、コミュニケーション支援アプリ運用